

熊本県土木部公共事業事前評価の概要

事前評価の目的と効果

熊本県が事業主体である公共事業について、効率性及びその実施過程の客観性・透明性の一層の向上を図るため、新たに着手する事業箇所を総合的に評価するものです。

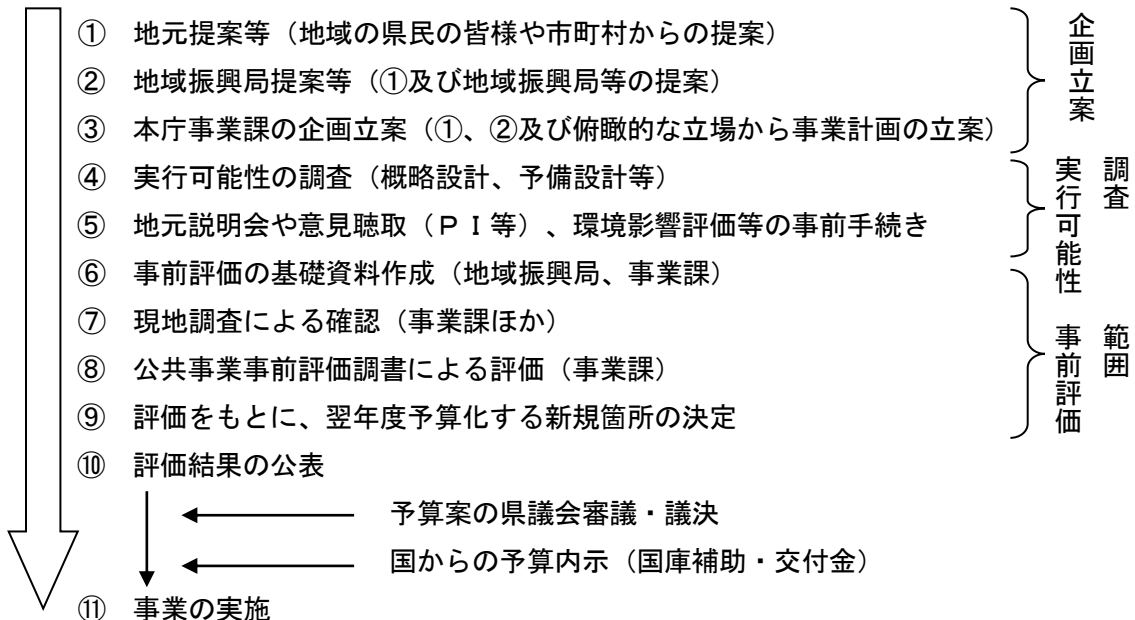
【事前評価の目的と期待される効果】

- 目的
 - ・ 成果重視型県政の推進
 - ・ 重点的効率的な事業の展開
 - ・ 県民の皆様への説明責任の積極的な遂行
- 効果
 - ・ 事業の長期化や事業費の増大などの抑制
 - ・ 施策の方向性に合った戦略的な事業の推進
 - ・ 効果的な事業費の配分
 - ・ 事業決定プロセスの客観性、透明性の向上

事業と事前評価の流れ

事業の内容によって事業の進め方に違いはありますが、事業の企画立案から、事前評価までのスケジュールの例を示すと次のとおりです。

※事業によっては流れが異なる場合があります。



※ ①から⑪までに要する期間は、事業の規模や内容によって異なります。環境調査だけで2～3年を要する事業もあれば、1～2年程度で事業着手できるものなど様々です。

※ ここに掲げたスケジュールは一例であって、すべてに該当するものではありません。

※ ④実行可能性の調査（概略設計、予備設計等）については、事業の必要性・重要性等を検証し、最低限度の調査を実施するとともに、既存の資料の活用を図ることと

します。

評価の対象

- 事業の種類
土木部が所管する公共事業のうち熊本県が主体である事業を対象としています。ただし、維持管理事業及び災害復旧に係る事業は除きます。
- 事業の規模
総事業費3億円以上の箇所を対象としています。ただし、当初から箇所を分割して整備する場合は、工事工区の総事業費でなく箇所全体の総事業費で判断して評価します。
- 評価を実施する年度
次年度において新たに事業を実施しようとする場合、その事業箇所を対象とします（これにより難しいものはこの限りではありません）。ただし、実行可能性調査のみを次年度に実施する場合は除きます。

公共事業事前評価調書

評価調書は、事業プロフィールと事業評価表で構成されています。

- 事業プロフィール
事業の概要を記載するとともに、地元の合意形成の状況、環境への影響など事業に着手できる周辺状況等が整っているかを把握するため作成するものです。
評点が高い箇所であっても、評点だけでは評価できない部分があり、事業評価表の評点と事業プロフィールと合わせて初めて、事業採択の適否、優先順位の評価が可能となります。
【事業プロフィールの項目】
 - ・ 事業概要（箇所・予定期間・目的等、事業の基本的事項）
 - ・ 現況写真（視覚的にわかるような写真等）
 - ・ 検討状況（技術的難易度、費用便益比、関係法令等の手続き等）
 - ・ 周辺状況（関連事業、市町村・地元の状況、説明会の開催等）
 - ・ 環境影響（環境影響とその影響に対する配慮事項）
- 事業評価表
事業評価表は、事業種ごとに重要性、必要性、緊急性、効率性の視点から設定した指標に基づき評点化したものです。
各指標に沿って評点を合計し、100点満点で総合の評点を算出します。各指標の設定は各評価者で評価結果に差異がでないよう客観的な指標設定を行っています。

・ 事業種

事業系	事業種
道路関係（6）	道路改築（広域道路） 道路改築（一般道路） 道路橋りょう 道路災害防除 交通安全 電線共同溝
河川・砂防（9）	河川改修 河川環境整備 海岸 海岸環境整備 河川総合開発 治水ダム 砂防（堰堤） 急傾斜 地すべり
港湾関係（6）	重要港湾 地方港湾 港湾環境整備 港湾環境整備（廃棄物） 港湾海岸 港湾海岸環境整備
都市計画関係（4）	街路 土地区画整理 都市公園 下水道
住宅関係（1）	住宅新築

・ 評価の視点

各指標は、重要性、必要性、緊急性、効率性の視点（評価軸）ごとに設けています。それぞれの事業はその性質・目的が異なることから、各評価項目と配点は事業種ごとに異なった指標により評価します。

【視点】

◇重要性

県計画等を推進する事業であるか。

（評価項目例）令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン等及び中・長期計画に位置付けられた事業など。

◇必要性

この事業がなくてはならないか。

（評価項目例）渋滞区間の解消、河川想定氾濫区域内の宅地状況など。

◇緊急性

災害発生の危険性、対策の緊急性はあるか。

(評価項目例) 災害危険箇所、過去の浸水歴、交通事故危険箇所など。

◇効率性

整備効果・地域波及効果が見込まれる事業であるか。

(評価項目例) 費用便益分析でB/Cは1を超えているか。

○ 事業プロフィールと評点による評価

評点の合計が高いものほど総合的な評価は高くなりますが、最終的な事業採択の適否決定や優先順位の判断は事業プロフィールで特定したリスク等の諸条件を総合的に評価し決定します。

評価結果の公表

○ 公表時期

予算案公表時に公表します。

○ 公表資料

公共事業事前評価総括表(当該年度評価実施分)、公共事業事前評価調書、事前評価項目と指標

公共事業事前評価総括表 （令和5年度（2023年度）評価実施）

担当部・局・課名	土木部 道路都市局 道路整備課
事業種名	道路改築系

番号	予算事業名	路線名・箇所名等	振興局 (事務所) 名	事業箇所		補・交・単	計画期間		総事業費 (百万円)	評点
				市町村名	箇所名		着手	完了		
1	道路改築費事業	国道324号 (本渡道路Ⅱ期)	天草	天草市	志柿町	補	R5	R14	24,800	85
2	地域道路改築事業	(主)玉名立花線(長小田 工区)	玉名	和水町	長小田	交	R5	R12	500	75
3	地域道路改築事業	(一)笹倉久住線(産山工 区)	阿蘇	産山村	産山	交	R5	R9	600	74
4	地域道路改築事業	(一)辛川鹿本線(辛川工 区)	県北	菊陽町	辛川	交	R5	R10	800	78

※ 評点は、事業種ごとの評価基準に基づき算出した点数であり、異なる事業種間では比較できません。

※ 国の補助採択が得られない場合等、今後の社会経済情勢や県の財政状況等により変更になる場合があります。

公共事業事前評価総括表 (令和5年度(2023年度)評価実施)

担当部・局・課名	土木部 河川港湾局 河川課
事業種名	河川改修系

番号	予算事業名	路線名・箇所名等	振興局 (事務所) 名	事業箇所		補・交・単	計画期間		総事業費 (百万円)	評点
				市町村名	箇所名		着手	完了		
1	油谷川単県自然債 河川改良(緊急)事業	油谷川	県南	八代市	坂本 中谷い	単	R5	R7	433	81
2	芋川単県自然債河 川改良(緊急)事業	芋川	球磨	球磨村	一勝地	単	R5	R7	316	78
3	広域河川改修事業	川辺川	球磨	相良村 五木村	相良村柳瀬~ 五木村甲	交	R5	R16	1,450	84

※ 評点は、事業種ごとの評価基準に基づき算出した点数であり、異なる事業種間では比較できません。

※ 国の補助採択が得られない場合等、今後の社会経済情勢や県の財政状況等により変更になる場合があります。

公共事業事前評価総括表 (令和5年度(2023年度)評価実施)

担当部・局・課名	土木部 河川港湾局 港湾課
事業種名	港湾環境整備(廃棄物)系

番号	予算事業名	路線名・箇所名等	振興局 (事務所) 名	事業箇所		補・交・単	計画期間		総事業費 (百万円)	評点
				市町村名	箇所名		着手	完了		
1	港湾環境整備事業	長洲港	玉名	長洲町	名石浜地内	交	R5	R9	5,000	75

※ 評点は、事業種ごとの評価基準に基づき算出した点数であり、異なる事業種間では比較できません。

※ 国の補助採択が得られない場合等、今後の社会経済情勢や県の財政状況等により変更になる場合があります。

公共事業事前評価総括表 （令和5年度（2023年度）評価実施）

担当部・局・課名	土木部 河川港湾局 砂防課
事業種名	地すべり系

番号	予算事業名	路線名・箇所名等	振興局 (事務所) 名	事業箇所		補・交・単	計画期間		総事業費 (百万円)	評点
				市町村名	箇所名		着手	完了		
1	防災安全交付金事業	火の玉地区	天草	天草市	栖本町	交	R5	R14	660	84

※ 評点は、事業種ごとの評価基準に基づき算出した点数であり、異なる事業種間では比較できません。

※ 国の補助採択が得られない場合等、今後の社会経済情勢や県の財政状況等により変更になる場合があります。

公共事業事前評価総括表 （令和5年度（2023年度）評価実施）

担当部・局・課名	土木部 河川港湾局 砂防課
事業種名	砂防系(砂防堰堤工)

番号	予算事業名	路線名・箇所名等	振興局 (事務所) 名	事業箇所		補・交・単	計画期間		総事業費 (百万円)	評点
				市町村名	箇所名		着手	完了		
1	防災安全交付金事業	古田川	県南	八代市	坂本町	交	R5	R8	300	83
2	防災安全交付金事業	松崎川第二	県南	八代市	坂本町	交	R5	R9	400	73

※ 評点は、事業種ごとの評価基準に基づき算出した点数であり、異なる事業種間では比較できません。

※ 国の補助採択が得られない場合等、今後の社会経済情勢や県の財政状況等により変更になる場合があります。

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	一般国道324号 本渡道路Ⅱ期 道路改築事業
事業箇所	天草市志柿町地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課(幹線道路班 内線 53364)
事業期間	令和5年度～令和14年度 (10年間)
総事業費	24,800百万円 (うち県費 8,325百万円)
事業内容	延長2.8km、橋梁3橋、トンネル3箇所
事業目的	<p>本道路が一部を形成する地域高規格道路「熊本天草幹線道路」は、熊本市と天草市を90分で結ぶ「90分構想」の実現に寄与するとともに、地域間の交流・連携を強化し、天草地域の観光や水産業等の振興、地域活性化に大きな役割を果たす道路である。</p> <p>国道324号は、平日朝夕・休日の慢性的な渋滞の発生や、周遊観光の移動に長時間を要しているなどの課題を抱えている。</p> <p>本道路の整備は、交通混雑の緩和や所用時間の短縮、アクセス性の向上による、人流・物流・観光・地域産業の活性化を目的としている。</p>

【現況写真】



(天草市志柿町の渋滞状況)

国道324号においては、天草瀬戸大橋前後の交差点を先頭に、平日朝夕の通勤時間帯や、休日の観光交通による渋滞が慢性的に発生している。夏期シーズン(休日)の熊本方面から天草方面への渋滞長は約4.9kmに及んでおり、日常生活や地域産業などに影響している。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.6
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のままでは、当該区間においては天草上島と下島を結ぶ唯一の道路であることに起因する、交通容量の不足と観光客等の交通が集中することによる著しい交通渋滞が発生し、地域振興、事故・災害時の代替路の確保を図るうえで支障をきたしている。 ・ルート選定については、1次選定、2次選定(概略設計)、3次選定(予備設計)と段階的に行い、それぞれの段階において経済性や整備効果を検証した。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要

【 周辺状況 】

関連事業	熊本天草幹線道路 本渡道路 I 期
市町村、地元の状況	関係市町村及び地元期成会・協議会などから早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	平成21年度に、熊本天草幹線道路(本渡道路[仮称])検討委員会(H21. 11~H22. 3、4回開催)を開催し、PI方式(市民参画型道路計画)により道路計画の検討を行っている。PI活動を通して、道路計画に対する地元の合意形成を図ってきたところである。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。 〔事業により影響を受ける場合、専門家の意見を参考に必要に応じて移植等を行う。〕	有 〔配慮する〕
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。 〔切土や盛土ののり面は、早期緑化を図る〕	有 〔配慮する〕

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 〔工事による濁水等に配慮する対策を講じる。〕	有 〔配慮する〕
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。 〔大気汚染、騒音、振動、悪臭について、必要に応じ低減対策を行う。〕	有 〔配慮する〕
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	5
	③ 道路ネットワーク上の位置づけ	20	20
	小 計	30	30
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	⑤ 産業活動関連道路	15	15
	⑥ 渋滞対策	5	5
	⑦ 救急医療機関等へのアクセス	5	5
小 計	30	29	
緊急性	⑧ 安全性の向上	15	10
	⑨ 連携する他事業	5	0
	小 計	20	10
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	16
	小 計	20	16
合 計		100	85

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	主要地方道玉名立花線(長小田工区) 地域道路改築事業
事業箇所	玉名郡和水町長小田地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線53345)
事業期間	令和5年度～令和12年度 (8年間)
総事業費	500百万円(うち県費233百万円)
事業内容	延長1,000m、バイパス整備
事業目的	<p>玉名立花線は、国道208号を起点とし、福岡県立花町の国道3号を終点とする主要地方道である。本路線は、九州新幹線新玉名駅へのアクセス機能を持つ道路であり、玉名市・和水町・山鹿市等の交流促進・連携強化の役割を持ち、本地域の産業経済や生活基盤を支える幹線道路である。</p> <p>本工区の現道は幅員が狭く、離合も困難な状況であり、集落内を通過するため歩行者等の通行にも支障をきたしている。このため、バイパスによる道路整備を行い、交通の円滑化、安全性の向上と地域活性化を図るものである。</p>

【現況写真】



(現道の状況)

現道は幅員が狭く、離合も困難な状況であり、集落内を通過するため歩行者等の通行にも支障をきたしている。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本箇所を整備することにより、車両交通の円滑化、歩行者の安全性向上が図られる。
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施しない場合、車両の離合困難箇所が残存することになり、一般車両及び緊急車両等の円滑な通行及び歩行者の安全が確保できない。 ・道路改良計画については、施工性及び経済性に優れたバイパス案とした。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	無し
市町村、地元の状況	関係市町村から早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	今後、地元説明会の開催を予定。

【 環境影響 】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	0
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	0
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④ 公共施設へのアクセス向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	15
	⑥ 救急施設等へのアクセス向上	5	5
	⑦ 渋滞対策または公共交通等の充実	5	5
	小計	50	45
緊急性	⑧ 安全性の向上	25	20
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	5
	⑩ 連携する他事業	5	0
	小計	35	25
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小計	5	5
合計		100	75

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	一般県道笹倉久住線(産山工区)地域道路改築事業
事業箇所	阿蘇郡産山村産山地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線53345)
事業期間	令和5年度～令和9年度 (5年間)
総事業費	600百万円(うち県費276百万円)
事業内容	延長315m、現道拡幅・線形改良
事業目的	<p>笹倉久住線は、阿蘇市を起点に産山村から大分県九重町に通じており、両県の交流を支える重要な一般県道である。当該事業箇所は幅員狭小・線形不良のため、車両の通行に支障を来している。また、H24.7.12熊本広域大水害の被災時には、土砂災害・冠水などにより道路が寸断され、住民の避難や支援活動、災害復旧の支障となったなど大きな課題がある。</p> <p>このため、当該箇所の早急な改良を行い、円滑な道路通行及び災害時における避難路や復興支援道路として機能を確保するものである。</p>

【現況写真】



(現道の状況)

現道は幅員狭小・線形不良により車両の通行に支障をきたしており、円滑な人流・物流が確保されていない。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本箇所を整備することにより、円滑な交通が図られるとともに、地域の利便性が向上する。
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域では、両県の交流や物流を目的とした車両の往来があるものの、幅員狭小部では離合が困難であり、線形不良箇所では大型車などの通行困難が発生している。 ・事業を実施しない場合、幅員狭小・線形不良による大型車両及び緊急車両等の円滑な通行が確保できない。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	無し
市町村、地元の状況	関係市町村から早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	令和2年度に地元説明会を開催。事業に対し了解を得ている。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	0
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	0
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 公共施設へのアクセスの向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	10
	⑥ 救急施設等へのアクセス向上	5	5
	⑦ 公共交通等の充実	5	5
	小 計	50	44
緊急性	⑧ 安全性の向上	25	25
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	0
	⑩ 連携する他事業	5	0
	小 計	35	25
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小 計	5	5
合 計		100	74

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書
評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [道路整備課長 森 裕]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	一般県道辛川鹿本線(辛川工区) 地域道路改築事業
事業箇所	菊池郡菊陽町辛川地内
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (県道班 内線53345)
事業期間	令和5年度～令和10年度(6年間)
総事業費	800百万円(うち県費368百万円)
事業内容	延長750m、道路改良、調整池1箇所
事業目的	<p>辛川鹿本線は、菊池郡菊陽町から山鹿市鹿本町まで繋がる一般県道である。本箇所周辺には、臨空テクノパークやセミコンテクノパークなどがあり、世界的半導体企業のTSMC関連工場が建設されるなど、今後の開発により、本箇所を含む空港北側では交通渋滞の発生が想定され、人流・物流への影響が懸念される。</p> <p>このため、本事業により道路改良を実施し、交通の分散による渋滞緩和を図ることを目的とする。</p>

【現況写真】



(現道の状況)

現道は、幅員狭小でカーブの連続するなど、線形不良箇所が多く、今後の交通の増大により、周辺道路では顕著な渋滞が発生し、人流・物流に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる
費用便益比	本箇所を整備することにより、渋滞の緩和が図られるとともに、地域の利便性が向上する。
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	<ul style="list-style-type: none"> ・臨空テクノパークやセミコンテクノパークの開発により、今後、交通の増加が見込まれ、交通渋滞の発生による人流・物流への影響が懸念される。 ・近隣の幹線道路とのネットワークを鑑み、市施行区間を含め、一部バイパス化とした。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<p>土壌汚染対策法第4条第1項に基づく届出が必要。</p> <p>文化財保護法第93条第1項に基づく届出が必要。</p>

【 周辺状況 】

関連事業	辛川鹿本線道路整備事業（事業主体：熊本市）
市町村、地元の状況	関係市町村から早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	R4.12.21に県区間の事業説明会を実施済。 今後、熊本市において、市区間の説明会を開催予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	有 (配慮する)
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	3
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	3
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④ 公共施設へのアクセス向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	10
	⑥ 救急施設等へのアクセス向上	5	5
	⑦ 渋滞対策または公共交通等の充実	5	5
	小 計	50	40
緊急性	⑧ 安全性の向上	25	20
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	5
	⑩ 連携する他事業	5	5
	小 計	35	30
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小 計	5	5
合 計		100	78

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [河川課長 仲田裕一郎]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	油谷川単県自然債河川改良(緊急)事業
事業箇所	八代市 坂本町 坂本、中谷い
事業担当課(室)	土木部 河川課 (計画調査班 内線 53766)
事業期間	令和5年度～令和7年度 (3年間)
総事業費	433百万円 (うち県費 433百万円)
事業内容	家屋かさ上げ等 87筆
事業目的	油谷川は、その源を肥後峠(標高 805m)に発し、球磨川に流入する右支川である。流路延長は8.0km、流域面積は32.8km ² の一級河川である。令和2年7月豪雨では、球磨川本川の水位上昇に伴う背水の影響による浸水などによる家屋等の被害が発生し、地域の社会及び経済に甚大な影響を与えた。このため、浸水被害を防止するための治水対策が急務になっている。本事業により宅地かさ上げを行うことで、家屋の浸水防止など浸水被害を軽減し、地域の人命、財産の保全を図ることを目的とする。

【現況写真】



令和2年7月豪雨による油谷川の浸水状況
(八代市 坂本町)



(令和2年7月の出水状況)

油谷川流域では県の雨量観測所で最大時間雨量49mm、累計雨量が280mm(県坂本観測所)になるなど、短期間に激しい雨が降り、油谷川で浸水被害が発生した。
また、球磨川本川からのバックウォーター現象により、合流部での浸水被害が発生。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.72
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行わない場合、令和2年7月豪雨と同等の雨により、本川背水区間の家屋等が浸水する。 ・事業実施時の費用対効果を算定した。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	なし
関係法令等の手続きの把握・完了状況	なし

【 周辺状況 】

関連事業	球磨川大規模災害関連事業(国交省)
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川流域治水協議会や河川整備計画説明会などにより、流域市町村へ説明を行い、意向を確認している。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地かさ上げ説明会等により、関係地区の住民に対して事業の必要性等について説明を行い、意向を確認している。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	有

【 事業評価表 】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	5
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 想定氾濫区域内の宅地状況	10	10
	⑤ 重要な公共施設等の状況	5	5
	⑥ 想定氾濫区域内の農耕地状況	5	0
	小 計	25	19
緊急性	⑦ 平時の活動阻害	15	15
	⑧ 浸水被害の頻度	10	8
	⑨ 人的被害の有無	10	8
	⑩ 他事業関連(ほ場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪ 交通に対する影響	5	5
	小 計	45	41
効率性	⑫ 費用便益比(B/C)	20	16
	小 計	20	16
合 計		100	81

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [河川課長 仲田裕一郎]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	芋川単県自然債河川改良(緊急)事業
事業箇所	球磨村 一勝地
事業担当課(室)	土木部 河川課 (計画調査班 内線 53766)
事業期間	令和5年度～令和7年度 (3年間)
総事業費	316百万円 (うち県費 316百万円)
事業内容	家屋かさ上げ等 46筆
事業目的	芋川は、その源を球磨村一勝地付近に発し、球磨川に流入する左支川である。流路延長は4.5km、流域面積は36.2km ² の一級河川である。令和2年7月豪雨では、球磨川本川の水位上昇に伴う背水の影響による浸水などによる家屋等の被害が発生し、地域の社会及び経済に甚大な影響を与えた。このため、浸水被害を防止するための治水対策が急務になっている。本事業により宅地かさ上げを行うことで、家屋の浸水防止など浸水被害を軽減し、地域の人命、財産の保全を図ることを目的とする。

【現況写真】



(令和2年7月の出水状況)

芋川流域では時間雨量が、最大70mmを超え、県の雨量観測所では、累計雨量が441mm(県球磨観測所)になるなど、短期間に激しい雨が降り、芋川で浸水被害が発生した。また、球磨川本川からのバックウォーター現象により、合流部での浸水被害が発生。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.72
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行わない場合、令和2年7月豪雨と同等の雨により、本川背水区間の家屋等が浸水する。 ・事業実施時の費用対効果を算定した。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	なし
関係法令等の手続きの把握・完了状況	なし

【 周辺状況 】

関連事業	球磨川大規模災害関連事業(国交省)
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川流域治水協議会や河川整備計画説明会などにより、流域市町村へ説明を行い、意向を確認している。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地かさ上げ説明会等により、関係地区の住民に対して事業の必要性等について説明を行い、意向を確認している。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	有

【 事業評価表 】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	5
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 想定氾濫区域内の宅地状況	10	9
	⑤ 重要な公共施設等の状況	5	4
	⑥ 想定氾濫区域内の農耕地状況	5	0
	小 計	25	17
緊急性	⑦ 平時の活動阻害	15	15
	⑧ 浸水被害の頻度	10	7
	⑨ 人的被害の有無	10	8
	⑩ 他事業関連(ほ場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪ 交通に対する影響	5	5
	小 計	45	40
効率性	⑫ 費用便益比(B/C)	20	16
	小 計	20	16
合 計		100	78

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [河川課長 仲田裕一郎]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	川辺川広域河川改修事業
事業箇所	相良村柳瀬 ～ 五木村甲
事業担当課(室)	土木部 河川課 (流域対策班 内線53777)
事業期間	令和5年度～令和16年度(12年間)
総事業費	1,450百万円(うち県費 725百万円)
事業内容	延長19.7km、掘削工、築堤盛土、護岸工、土砂流出抑制施設、流木捕捉施設
事業目的	川辺川は熊本県八代市泉町の雁俣山を源流とする球磨川の右支川であり、八代市泉町と五木村を貫流し、相良村で球磨川に合流する。本川は、昭和38年～40年の3カ年連続の集中豪雨、平成16年～19年の4ヶ年連続の豪雨、令和2年豪雨等、度重なる洪水被害が発生しており、川辺川沿川の浸水被害の軽減を図り、さらに国が整備する「川辺川の新たな流水型ダム」の適切な運用に資する河道の整備を行うことで、川辺川のみならず球磨川水系全体の治水安全度の向上を図ることを目的とする。

【現況写真】



(令和2年7月豪雨の出水状況)
大型の線状降水帯が発生し、さらに、およそ13時間にわたり停滞したことにより記録的な総雨量(柳瀬331mm/12h、宮園橋364mm/12h)をもたらし、川辺川沿川では191戸の家屋、道路、農地等の浸水被害が生じた。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.11
事業比較 （事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容（ソフト対策も含む））	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行わない場合、2年に1度の割合で、家屋6戸及び66haが浸水する。 ・生起確率30年の降雨に対する想定氾濫区域の検討及び費用対効果の比較を行った。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防から水際部に降りる階段や斜路を整備する区間を設け、人が河川とふれあえるように親水性に配慮する。 ・五木村、相良村のまちづくり計画と連携した川づくりに地域と一体となって取り組む。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮システムによる環境配慮が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	川辺川ダム建設事業（事業主体：国）
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・五木村や相良村などから安全・安心を確保するための河川整備を求める要望あり。 ・住民からも説明会等において、早期の治水対策を求める要望がよせられている。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・本区間を含む河川整備計画策定に向けた、公聴会や住民説明会を開催。住民から河川改修に対する反対意見は無く、早期の安全・安心を求める意見がよせられている。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	有 〔配慮する〕


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	4
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 想定氾濫区域内の宅地状況	10	10
	⑤ 重要な公共施設等の有無	5	5
	⑥ 想定氾濫区域内の農耕地状況	5	5
	小計	25	24
緊急性	⑦ 平時の活動阻害	15	15
	⑧ 浸水被害の頻度	10	9
	⑨ 人的被害の有無	10	10
	⑩ 他事業関連(圃場整備、まちづくり等)	5	5
	⑪ 交通に対する影響	5	5
	小計	45	44
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	12
	小計	20	12
合計		100	84

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

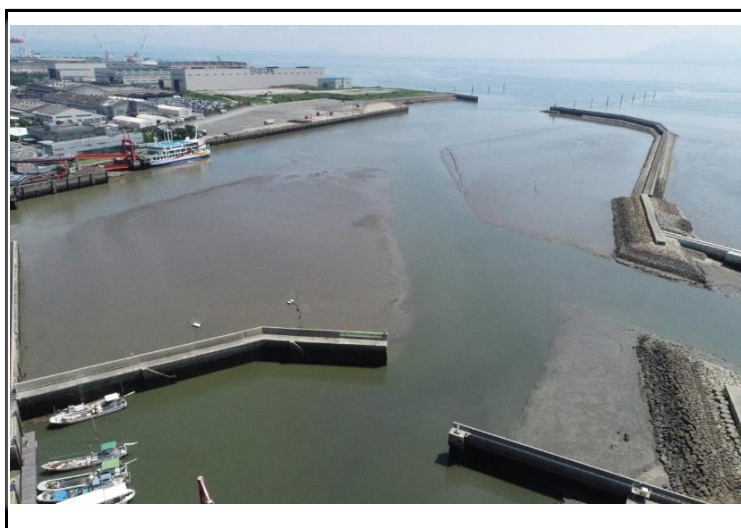
評価調書作成者 [港湾課長 倉光宏一]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	長洲港 港湾環境整備事業
事業箇所	玉名郡長洲町名石浜地先
事業担当課(室)	土木部 港湾課 (港湾整備班 内線53847)
事業期間	令和5年度～令和9年度(5年間)
総事業費	5,000百万円 (うち県費3,300百万円)
事業内容	護岸延長L=825m
事業目的	<p>有明海沿岸は土砂堆積が著しく、長洲港や沿岸の漁港、港内立地企業では、港の機能維持のために定期的な浚渫を実施しているが、発生する浚渫土砂の処分に係る経費や運搬先の確保が課題となっている。</p> <p>上記課題に対応するため、長洲港に土砂処分場(護岸)を整備し、安定的に浚渫土砂の処分先を確保することで、港湾(民間含む)・漁港施設の機能の維持を図る。</p>

【現況写真】



(土砂の堆積状況)

長洲港の航路、泊地内における土砂の堆積は著しく、毎年多量の土砂を浚渫し遠方まで搬出しており、多額の費用を要している。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.7
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	事業を行わない場合として、浚渫土砂を領海基線の外側である五島沖まで搬出する方法との費用対効果の比較を行った。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	-
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県環境影響評価条例に基づく、環境影響評価を実施中。 ・港湾区域の変更が必要。 ・公有水面埋立の免許が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	玉名市漁港事業(地方創生港整備推進交付金事業)
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長洲町から土砂処分場の整備要望があっている。 ・長洲町を含む、荒尾玉名地域の全市町から、港内立地企業の浚渫に対する支援要望があっている。 ・土砂投入予定の漁港管理自治体と、事業の枠組みについての調整は整っている。
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月及び令和4年5月に、地元長洲町上沖洲区への説明会行い、事業の必要性等を共有した。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。 〔事業実施区域及びその周囲では、複数種の重要な動植物の生息が考えられるため、今後の調査結果を踏まえ、周辺環境に配慮する。〕	有 〔配慮する〕
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。 〔事業実施区域の周辺海域には、ラムサール条約湿地に登録されている荒尾干潟が存在するため、今後の調査結果を踏まえ、周辺環境に配慮する。〕	有 〔配慮する〕
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。 〔事業実施区域及びその周辺には、有明海、荒尾干潟、鍋松原海岸等の主要な景観資源が存在するため、今後の調査結果を踏まえ、周辺環境に配慮する。〕	有 〔配慮する〕
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。 〔事業実施区域の周辺海域には、ラムサール条約湿地に登録されている荒尾干潟が存在するため、今後の調査結果を踏まえ、周辺環境に配慮する。〕	有 〔配慮する〕
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 〔構造物を設置する際には、濁水対策など施工方法に配慮する。〕	有 〔配慮する〕
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	0
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	0
必要性	③ 特定地域振興	5	0
	④ 廃棄物処分場の供用期間	20	20
	⑤ 良好な港湾環境の形成	20	12
	⑥ 受益対象の範囲	15	15
	⑦ 土地造成後に想定される利用形態	20	20
	小計	80	67
効率性	⑧ 費用便益比(B/C)	10	8
	小計	10	8
合計		100	75

令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [砂防課長 松田龍朋]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	火の玉 防災・安全交付金(地すべり)事業
事業箇所	天草市栖本町馬場地内
事業担当課(室)	土木部 河川港湾局 砂防課 (砂防班 内線:53944)
事業期間	令和5年度～令和14年度 (9年間)
総事業費	660百万円 (うち県費 330百万円)
事業内容	横ボーリング工1式、集水井工1式、アンカー工1式、鋼管杭工1式
事業目的	<p>火の玉地区は熊本県天草市栖本町に位置し、保全対象として、二級河川白洲川、市道950m、人家27戸を含む地すべり地域である。</p> <p>本地区は明瞭な地すべり地形を呈しており、人家および市道への地すべり変状が確認されている。</p> <p>今後の豪雨により、地すべりが発生した場合には人家、市道などへの被害の恐れがあることから、地すべり対策事業を実施するものである。</p>

【現況写真】



人家及び市道の亀裂



市道の亀裂

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 3.79
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	事業を実施しない場合、地すべり変状が発生し、人家に影響を与える可能性がある。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	特になし。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	特になし。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	市町村、地元から地すべり対策の要望あり。
説明会の開催状況と関係者の意向	事業着手後に地元説明会を開催予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	0
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	0
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 住家、要配慮者利用施設等の保全	25	25
	⑤ 交通体系の保全	10	5
	小計	40	34
緊急性	⑥ 地すべりの被害	20	20
	⑦ 地すべりの兆候	10	10
	小計	30	30
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	20	20
	小計	20	20
合計		100	84

令和5年度(2022年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [砂防課長 松田 龍朋]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	古田川 防災・安全交付金(通常砂防)事業
事業箇所	八代市坂本町西部
事業担当課(室)	土木部 河川港湾局 砂防課 (砂防班 内線:53947)
事業期間	令和5年度～令和8年度
総事業費	300百万円(うち県費150百万円)
事業内容	透過型砂防堰堤1基、工事用道路兼管理用道路1式
事業目的	<p>古田川は、熊本県八代市坂本町西部に位置し、保全対象に人家15戸、JR肥薩線93m、県道158m等を含む土石流危険溪流(ランクⅠ)である。溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、次期出水時に流出する可能性が高く、下流の保全人家等に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このような状況を鑑み、砂防堰堤1基を整備することによって、土砂災害を未然に防止するとともに、民生の安定を図ることを目的とする。</p>

【現況写真】



【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 2.49
事業比較 〔 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) 〕	事業を行わない場合、降雨(100年に1度の確率の雨量)で下流域の人家15戸が全壊する恐れがある。 また、県道への土砂流出が懸念され、民生の安定に影響を及ぼす。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	施設整備箇所は山間部で、住民の立ち入り等が比較的少ない箇所であるため、UD等の配慮は無い。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	特になし。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	特になし。
説明会の開催状況と関係者の意向	事業着手後に地元説明会を開催予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

: 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	0
	小計	10	4
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④住家、要配慮者利用施設等の保全	25	20
	⑤交通体系の保全	10	10
	⑥土石流により流下する土石等の量	10	5
	小計	50	39
緊急性	⑦土砂災害特別警戒区域内の保全人家戸数	20	20
	小計	20	20
効率性	⑧ 費用便益比(B/C)	20	20
	小計	20	20
合計		100	83

令和5年度(2022年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価時点 [令和5年(2023年)1月]

評価調書作成者 [砂防課長 松田 龍朋]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	松崎川第二 防災・安全交付金(通常砂防)事業
事業箇所	八代市坂本町坂本
事業担当課(室)	土木部 河川港湾局 砂防課 (砂防班 内線:53947)
事業期間	令和5年度～令和9年度
総事業費	400百万円(うち県費200百万円)
事業内容	透過型砂防堰堤1基、工事用道路兼管理用道路1式
事業目的	<p>松崎川第二は、熊本県八代市坂本町坂本に位置し、保全対象に人家9戸、県道230m等を含む土石流危険溪流(ランクⅠ)である。渓床には不安定土砂が厚く堆積しており、次期出水時に流出する可能性が高く、下流の保全人家等に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このような状況を鑑み、砂防堰堤1基を整備することによって、土砂災害を未然に防止するとともに、民生の安定を図ることを目的とする。</p>

【現況写真】



【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 8.38
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<p>事業を行わない場合、降雨(100年に1度の確率の雨量)で下流域の人家15戸が全壊する恐れがある。</p> <p>また、県道への土砂流出が懸念され、民生の安定に影響を及ぼす。</p>
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	施設整備箇所は山間部で、住民の立ち入り等が比較的少ない箇所であるため、UD等の配慮は無い。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	特になし。

【 周辺状況 】

関連事業	特になし。
市町村、地元の状況	特になし。
説明会の開催状況と関係者の意向	事業着手後に地元説明会を開催予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮


	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無


 : 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	0
	小 計	10	4
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④住家、要配慮者利用施設等の保全	25	20
	⑤交通体系の保全	10	10
	⑥土石流により流下する土石等の量	10	5
	小 計	50	39
緊急性	⑦土砂災害特別警戒区域内の保全人家戸数	20	10
	小 計	20	10
効率性	⑧ 費用便益比(B/C)	20	20
	小 計	20	20
合 計		100	73

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 30	(小計) 30	(小計) 20	(小計) 20	100
道路改築系（広域道路）					
道路改築事業 地域道路改築事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画 ・道路整備計画等 道路ネットワーク上の位置付け ・国土強靱化地域計画 ・高規格道路 ・一般広域道路	特定地域振興 ・過疎 ・振山 ・離島、半島 産業活動関連道路 ・交通拠点 ・物流拠点 ・観光地 渋滞対策 ・混雑度 救急医療機関等へのアクセス・災害への備え ・救急医療施設等 ・緊急輸送道路	安全性の向上 ・災害危険箇所等 ・幅員狭小箇所 ・線形不良箇所 ・歩道の設置 連携する他事業 ・他事業の有無	費用便益比 ・定性的記述	20
	(小計) 10	(小計) 50	(小計) 35	(小計) 5	100
道路改築系（一般道路）					
地域道路改築事業 単県道路改築事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画 ・道路整備計画等	特定地域振興 ・過疎 ・振山 ・離島、半島 公共施設へのアクセスの向上 ・公共施設 ・住民サービス拠点 生活利便施設へのアクセス向上 ・商業施設、銀行 救急施設等へのアクセス向上 ・救急医療機関 ・警察消防機関 渋滞対策または公共交通等の充実 ・混雑度 ・大型車輛の通行円滑化	安全性の向上 ・災害危険箇所等 ・幅員狭小箇所 ・線形不良箇所 歩行の安全性の向上 ・歩道の設置 連携する他事業 ・他事業の有無	費用便益比 ・定性的記述	5
	(小計) 10	(小計) 50	(小計) 40	(小計) 0	100
橋りょう系					
道路改築事業 地域道路改築事業 単県橋梁改築事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画 ・道路整備計画等	特定地域振興 ・過疎 ・振山 ・離島、半島 構造形式 ・ゲルバー桁、パイ ルベント橋脚 ・路側部（床版） ・縦目地 通水阻害 ・河川阻害	橋梁点検 ・損傷状態 耐荷力不足 ・通過荷重制限 ・B活荷重不足 交通のネック箇所 ・幅員		

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 25	(小計) 35	(小計) 40	(小計) 0	100
道路防災系 道路災害防除事業 単県道路防災事業 等	事業計画の位置付け 5 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 5 <ul style="list-style-type: none"> ・建設計画等 緊急輸送道路等指定状況 15 <ul style="list-style-type: none"> ・1次、2次緊急輸送道路指定区間、重要輸送道路指定区間 	特定地域振興 5 <ul style="list-style-type: none"> ・過疎 ・振山 ・離島、半島 交通量 10 <ul style="list-style-type: none"> ・日交通量 各種防災点検 20 <ul style="list-style-type: none"> ・防災総点検 	異常気象時規制 11 <ul style="list-style-type: none"> ・通行規制区間 迂回路状況 13 <ul style="list-style-type: none"> ・迂回路の有無 ・迂回路が遠い 落石等発生状況 16 <ul style="list-style-type: none"> ・落石の発生、クラック等の変状 		
	(小計) 30	(小計) 40	(小計) 30	(小計) 0	100
交通安全系 交通安全施設等整備事業 単県交通安全施設整備事業 等	事業計画の位置付け 5 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 5 <ul style="list-style-type: none"> ・建設計画等 交通安全総点検 20 <ul style="list-style-type: none"> ・「R3総点検」「H24緊急点検」において、対策必要箇所の整備 ・「通学路交通安全プログラム」において、公表された箇所の整備 ・「未就学児等の移動経路の緊急点検」において、対策必要箇所の整備 ・地域要望 	特定地域振興 5 <ul style="list-style-type: none"> ・過疎 ・振山 ・離島、半島 ゾーン30プラス 9 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者自転車交通量 道路のUD空間整備の推進 6 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉、公共施設の有無 ・交通結節点 自転車・歩行者数 8 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者自転車交通量 歩道設置状況 12 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道設置の有無 ・歩道幅員 ・段差等 	交通事故危険箇所 10 <ul style="list-style-type: none"> ・国指定 ・交安、県指定 ・指定以外の事故多発箇所 通学路等 15 <ul style="list-style-type: none"> ・児童、園児の利用等 道路の安全性確保向上 5 <ul style="list-style-type: none"> ・視距解消 		
	(小計) 45	(小計) 50	(小計) 5	(小計) 0	100
電線共同溝系 電線共同溝整備事業 単県電線類地中化事業 等	事業計画の位置付け 5 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 5 <ul style="list-style-type: none"> ・建設計画等 電線類地中化計画 20 <ul style="list-style-type: none"> ・計画位置付けの有無 緊急輸送道路等指定状況 15 <ul style="list-style-type: none"> ・1次、2次緊急輸送道路指定区間、重要物流道路指定区間 ・代替的機能の有無 	特定地域振興 5 <ul style="list-style-type: none"> ・過疎 ・振山 ・離島、半島 都市計画における指定状況 15 <ul style="list-style-type: none"> ・商業系、住居系 ・観光、歴史 歩行者通行量 10 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者数 周辺整備状況 10 <ul style="list-style-type: none"> ・隣接箇所の整備状況 被災時の影響度 10 <ul style="list-style-type: none"> ・D I D地区内 	車両交通への影響 5 <ul style="list-style-type: none"> ・交通量 		

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 10	(小計) 25	(小計) 45	(小計) 20	100
河川改修系					
広域基幹河川改修事業 都市河川改修事業 単県河川改修事業 総合流域防災事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎 ・振山 ・離島、半島 10 想定氾濫区域内の宅 地状況 ・想氾区域内の宅地 等数 5 重要公共施設の有無 ・想氾区域内の施設数 5 農耕地状況 ・想氾区域内の農耕 地面積	5 平時の活動阻害 ・過去の浸水歴等 10 浸水被害頻度 ・浸水被害家屋数 10 人的被害の有無 ・人的被害歴 5 他事業関連 ・圃場整備等 5 交通に対する影響 ・道路の浸水歴	費用便益比 20	
	(小計) 10	(小計) 85	(小計) 5	(小計) 0	100
河川環境整備系					
単県河川環境整備事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、 半島 15 周辺環境 ・水辺のアクセス 15 水質状況 ・水質汚濁状況 5 地域の特色、個性 ・知名度、シンボル等 20 実施後の利用形態 ・イベント等 15 地域での河川への活 動取組状況 ・活動状況	5 他事業関連 ・圃場整備、まち づくり等		
	(小計) 10	(小計) 35	(小計) 35	(小計) 20	100
海岸系（建設海岸）					
海岸高潮対策事業 単県海岸保全事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、 半島 10 重要公共施設の有無 ・想浸区域内の施設数 10 当該区域に対する影 響 5 1km当たり防護区域ha 10 防護区域内の家屋状 況 ・1km当たり戸数	5 平時の活動阻害 ・過去の浸水歴等 10 計画波浪に対する 越波高 ・2m以上 ・1m以上 ・1m未満 5 交通に対する影響 ・道路の浸水歴	費用便益比 20	

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 10	(小計) 60	(小計) 20	(小計) 10	100
海岸環境整備系 単県海岸環境整備事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 周辺環境 ・海辺のアクセス、景観等 水質状況 ・水質汚濁状況 地域の特色、個性 ・知名度、シンボル等 実施後の利用形態 ・イベント等	平時の活動阻害 ・過去の浸水歴等 計画波浪に対する越波高 ・波浪打上高	費用便益比	10
	(小計) 10	(小計) 30	(小計) 40	(小計) 20	100
河川総合開発系 河川総合開発事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 想定氾濫区域内の宅地状況 ・想定区域内の宅地等数 重要公共施設の有無 ・想定区域内の施設数 農耕地状況 ・想定区域内の農耕地面積	平時の活動阻害 ・過去の浸水歴等 浸水、濁水による農業被害 ・浸水、濁水被害歴 人的被害の有無 ・人的被害歴 交通に対する影響 ・道路の浸水歴 濁水による水道被害 ・濁水被害歴	費用便益比	20
	(小計) 10	(小計) 30	(小計) 40	(小計) 20	100
治水ダム 河川総合開発事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 想定氾濫区域内の宅地状況 ・想定区域内の宅地等数 重要公共施設の有無 ・想定区域内の施設数 農耕地状況 ・想定区域内の農耕地面積	平時の活動阻害 ・過去の浸水歴等 浸水被害頻度 ・浸水被害家屋数 人的被害の有無 ・人的被害歴 交通に対する影響 ・道路の浸水歴	費用便益比	20

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 46	(小計) 27	(小計) 7	(小計) 20	100
重要港湾系					
重要港湾改修事業 港湾施設改良費統合補助 単県港湾改修事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 国内物流基盤の充実 ・内貿取扱貨物量等	災害に強い港湾 ・地域防災計画 ・背後圏人口等	費用便益比	20
	5	5	7		
	市町村合併支援 ・建設計画等	海洋性レクリエーション拠点整備 ・マリーナ、緑地計画等			
	5	15			
	国際海運物流ネットワーク ・外貿取扱貨物量等				
	14	7			
	海上交通ネットワーク ・旅客航路数等				
	12				
	地域生活基盤の整備 ・岸壁の整備率等				
	10				
	(小計) 49	(小計) 31	(小計) 0	(小計) 20	100
地方港湾系					
地方港湾改修事業 港湾施設改良費統合補助 単県港湾改修事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 国内物流基盤の充実 ・内貿取扱貨物量等		費用便益比	20
	5	5			
	市町村合併支援 ・建設計画等				
	5	26			
	海上交通ネットワーク ・旅客航路数等				
	20				
	地域生活基盤の整備 ・岸壁の整備率等				
	19				
	(小計) 10	(小計) 35	(小計) 35	(小計) 20	100
港湾海岸系					
港湾海岸高潮対策事業 港湾海岸局部改良事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 重要な公共施設等の有無 ・想浸区域内の公共施設数	平時の活動阻害 ・過去の浸水歴	費用便益比	20
	5	5	20		
	市町村合併支援 ・建設計画等	当該区域に対する影響 ・1km当たり防護区域ha	計画波浪に対する越波高 ・2m以上 ・1m以上 ・1m未満		
	5	10	10		
		防護区域内の家屋状況 ・1km当たり戸数	交通に対する影響 ・道路の浸水歴		
		10	5		

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 10	(小計) 80	(小計) 0	(小計) 10	100
港湾環境整備系 港湾環境整備(緑地)事業 海域環境創造事業 単県港湾環境整備事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 10 周辺環境 ・海辺のアクセス、景観等 20 良好な港湾環境 ・土砂処分能力等 5 海域環境の創造 ・水質底質の改善等 20 地域の特徴、個性 ・知名度、シンボル等 10 実施後の利用形態 ・イベント等		費用便益比 10	
	(小計) 10	(小計) 80	(小計) 0	(小計) 10	100
港湾環境整備(廃棄物)系 港湾環境整備(廃棄物)事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 20 供用期間 ・供用期間 20 良好な港湾環境 ・土砂処分能力等 5 受益対象の範囲 ・他利用者の受入 15 実施後の利用形態 ・土地利用計画		費用便益比 10	
	(小計) 10	(小計) 60	(小計) 20	(小計) 10	100
港湾海岸環境整備系 港湾海岸環境整備事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 15 周辺環境 ・海辺のアクセス、景観等 15 水質の状況 ・水質汚濁状況 5 地域の特徴、個性 ・知名度、シンボル等 10 実施後の利用形態 ・イベント等	5 平時の活動阻害 ・過去の浸水歴 10 計画波浪に対する越波高 10 波浪打上高	費用便益比 10	

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 20	(小計) 35	(小計) 25	(小計) 20	100
街路系					
街路事業 社会資本整備総合交付金事業 地域自主戦略交付金事業 単県街路促進事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等 まちづくりの支援 ・都市マス	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 10 交通ネットワークの整備・改善 ・街路の役割 ・骨格道路、広域拠点 5 住環境の整備改善 ・都市内定住人口等 10 公共交通利便性 ・交通結節機能等	5 交通円滑化の確保 ・混雑率等 10 都市防災機能 ・緊急避難路等 5 他事業との連携 ・商業振興施設等	10 費用便益比 10 5	20
	(小計) 20	(小計) 25	(小計) 25	(小計) 30	100
土地区画整理系					
区画整理事業 社会資本整備総合交付金事業 地方特定道路整備事業（区画） 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等 まちづくりの支援 ・都市マス	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 10 住環境の整備改善 ・都市内定住人口等 10 公共交通利便性 ・交通結節機能等	5 交通円滑化の確保 ・混雑率等 10 都市防災機能 ・緊急避難路等 10 他事業との連携 ・商業振興施設等	10 費用便益比 10 資金計画妥当 ・合理的な資金計画等 5	20
	(小計) 20	(小計) 35	(小計) 25	(小計) 20	100
都市公園系					
都市公園整備事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等 まちづくりの支援 ・都市マス	5 特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 10 住環境の整備改善 ・都市内定住人口等 20 都市内環境空間の形成 ・住民一人当たり公園面積	5 都市防災機能 ・緊急避難路等 5 他事業との連携 ・商業振興施設等	20 費用便益比 5	20

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 30	(小計) 30	(小計) 20	(小計) 20	100
下水道系					
流域下水道建設事業(補助) 流域下水道建設事業(単県)	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 汚水処理人口普及率 ・普及率 水利用状況 ・取水施設の有無 自然公園等 ・国立公園等の有無 希少生物の状況 ・絶滅危惧種の有無	環境基準の達成状況 ・水質基準達成率 他事業との関連 ・他事業の有無	費用便益比	20
	5	5	15	5	
	市町村合併支援 ・建設計画等	5	4		
	水質の環境保全	10	3		
	下水道事業の位置付け	5	3		
	計画人口	5			
	(小計) 10	(小計) 50	(小計) 20	(小計) 20	100
砂防系（砂防堰堤工）					
通常砂防事業 火山砂防事業 単県砂防事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 住家、要配慮者利用施設等の保全 ・土砂災害警戒区域等内の住家、施設数	土砂災害特別警戒区域内の人家戸数 ・保全人家戸数等	費用便益比	20
	5	5	25		
	市町村合併支援 ・建設計画等	5	10		
			10		
			10		
	(小計) 10	(小計) 40	(小計) 30	(小計) 20	100
急傾斜系					
急傾斜地崩壊対策事業 単県急傾斜地崩壊対策事業	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 住家、要配慮者利用施設等の保全 ・土砂災害警戒区域等内の住家、施設数	土砂災害特別警戒区域内の人家戸数 ・保全人家戸数等 がけの変状 ・崩壊地等の有無	費用便益比	20
	5	5	20		
	市町村合併支援 ・建設計画等	5	15	10	

令和5年度（2023年度）事業分 事前評価 項目と指標

事業種、事業名	重要性	必要性	緊急性	効率性	合計
	(小計) 10	(小計) 40	(小計) 30	(小計) 20	100
地すべり系 地すべり対策事業 単県地すべり対策事業 等	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 住家、要配慮者利用施設等の保全 ・土砂災害警戒区域等内の住家、施設数 交通体系の保全 ・緊急輸送道路、鉄道等の有無	地すべりの被害 ・地すべりによる被害の有無 地すべりの兆候 ・地すべり変状の確認	費用便益比	20
	(小計) 25	(小計) 35	(小計) 10	(小計) 30	100
住宅系 公営住宅建設事業（交付金）	事業計画の位置付け ・新しいくまもと創造に向けた基本方針等 ・中長期計画 ・地域計画等 市町村合併支援 ・建設計画等 少子高齢社会対応 ・定住対策、少子・高齢対策	特定地域振興 ・過疎、振山、離島、半島 県営住宅需要の多募 ・応募倍率 住宅困窮世帯の多募 ・低所得民間賃貸住宅世帯率 世帯に応じた住宅の供給 ・型別供給 地域への波及効果 ・コミュニティ活性化 ・人口対策 ・地域景観向上	効率的な事業執行 ・他事業連携 ・余剰地活用	費用便益比 環境問題への対応 ・再生資材の活用 ・自然エネルギー活用	20 10

熊本県公共事業事前評価要綱

(目的)

第1条 熊本県が事業主体である公共事業について、新たに事業を実施しようとする箇所の優先度の判断に資するため、総合的な評価（以下「事前評価」という。）を実施し、事業の重点的・効率的な推進と事業の客観性及び透明性の一層の向上を図る。

(対象とする事業)

第2条 事前評価の対象とする事業は、農林水産部及び土木部が所管する公共事業のうち、熊本県が事業主体である事業（以下「対象事業」という。）とする。ただし、維持・管理事業及び災害復旧に係る事業を除く。

(事前評価を実施する事業箇所)

第3条 事前評価を実施する事業箇所は、新たに対象事業を実施しようとする箇所で、事業規模が総事業費3億円以上のものとする。

(事前評価を実施する時期)

第4条 事前評価を実施する時期は、原則、対象事業を実施しようとする前年度に行うこととする。ただし、これにより難しい場合は、この限りではない。

(事前評価の実施)

第5条 対象事業を所管する関係部長（以下「関係部長」という。）は、それぞれが所管する事業種ごとに事前評価を行う際の指標等を定め、これに基づいて評価調書を作成する。

2 評価調書は、事業プロフィールと事業評価で構成し、事業箇所ごとに作成する。

3 評価は以下の基本的な観点から、客観的、総合的に行う。

- (1) 重要性
- (2) 必要性
- (3) 緊急性
- (4) 効率性

(評価結果の公表)

第6条 評価結果については、事前評価を実施する事業箇所の予算案公表時に、関係部長が公表する。

2 公表は、公共事業事前評価総括表及び公共事業事前評価調書によりこれを行う。

(細目の決定)

第7条 その他、事前評価の実施について必要な事項は、関係部長が策定する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成17年11月30日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和元年12月26日から施行する。